

バイオセーフティ管理監について

「長崎大学の感染症研究拠点の中核となる高度安全実験（BSL-4）施設の基本構想」において、BSL-4 施設の安全管理の監査を担うこととしていたバイオセーフティ管理監（以下「管理監」という。）について、以下のとおり学内に位置づけ。

管理監の人選については、BSL-4 施設や病原体管理に精通した方として、有川二郎氏（次ページ参照）を 8 月 16 日付けで委嘱（非常勤）。

（職務）

- 管理監は、BSL-4 施設における病原体等の安全管理に関する業務を監査する。
- 管理監は、いつでも学内の役職員に対して業務に関する報告を求め、状況を調査することが出来る。

（監査結果の報告・公表）

- 管理監は、監査の結果に基づき、学長に意見を提出することが出来る。また、病原体等の安全管理に関して、不正行為等があった場合には、その旨を学長に報告しなければならない。
- 管理監が上記の意見の提出及び報告を行ったときは、ホームページ等を通じてその内容を公表する。

（任命その他）

- 管理監は、感染症共同研究拠点に所属しない者から学長が任命又は委嘱する。
- 学長は、管理監に対して、監査をしたことを理由として解任等の不利益な取扱いを行ってはならない。不利益な取扱いを行った役職員に対しては、処分を科すことができる。

略 歴（平成 30 年 10 月 1 日時点）

氏 名：有川 二郎

生年月日：昭和 28 年 4 月 24 日（65 歳）



学歴・職歴：

昭和 48 年 4 月 北海道大学理科 2 類入学

昭和 52 年 3 月 北海道大学獣医学部卒業

昭和 52 年 4 月 東北大学研究生（医学部細菌学教室）

昭和 56 年 4 月 北海道大学獣医学部獣医公衆衛生学講座助手

平成 2 年 1 月 北海道大学免疫科学研究所附属免疫動物実験施設助教授

平成 7 年 1 月 北海道大学医学部附属動物実験施設教授

平成 19 年 4 月 北海道大学大学院医学研究院微生物学免疫学講座病原微生物学教室教授

平成 29 年 3 月 北海道大学定年退職

平成 29 年 4 月 北海道大学大学院医学研究院特任教授

平成 29 年 6 月 北海道大学名誉教授

現在の教育研究内容（北海道大学 HP より）：

げっ歯類を自然宿主として人に重篤な出血熱を引き起こす、ハンタウイルス感染症（腎症候性出血熱とハンタウイルス肺症候群）について研究を行っている。本症は、げっ歯類媒介性の人獣共通感染症の代表と位置づけられ、感染症法において、患者の届出が必要な四類感染症に指定されている。これまで、多数のハンタウイルスの遺伝子をクローニングし、その発現蛋白を用いてウイルスの構造と機能の解析、また、マウスを用いた感染モデルの解析から発症メカニズムを解析し、特に病原性との関連について基礎研究を継続している。一方、得られた基礎的研究成果を応用し、安全な診断抗原を開発し、疫学的研究に応用している。

業績：審査付英文原著論文：186 篇

主な発表論文（主要 5 点）

1. Koma, T., Yoshimatsu, K., Pini, N., Safronetz, D., Taruishi, M., Levis, S., Endo, R., Shimizu, K., Yasuda, SP., Ebihara, H., Feldmann, H., Enria, D., Arikawa, J. 2011. Truncated hantavirus nucleocapsid proteins for serotyping Sin Nombre, Andes, and Laguna Negra hantavirus infections in humans and rodents. *J. Clin. Microbiol.* 48:1635-1642.
2. Gamage, CD., Yasuda, SP., Nishio, S., Kularatne, SA., Weerakoon, K., Rajapakse, J., Nwafor-Okoli, C., Lee, RB., Obayashi, Y., Yoshimatsu, K., Arikawa, J., Tamashiro, H. 2011. Serological evidence of Thailand virus-related hantavirus infection among suspected leptospirosis patients in Kandy, Sri Lanka. *Jpn. J. Infect. Dis.* 64:72-75.
3. Shimizu, K., Li, C., Muramoto, Y., Yamada, S., Arikawa, J., Chen, H., Kawaoka, Y. 2011. The nucleoprotein and matrix protein segments of H5N1 influenza viruses are responsible for dominance in embryonated eggs. *J. Gen. Virol.* 92:1645-1649.

4. Li, TC., Yoshimatsu, K., Yasuda, SP., Arikawa, J., Koma, T., Kataoka, M., Ami, Y., Suzaki, Y., Mai, le. TQ., Hoa, NT., Yamashiro, T., Hasebe, F., Takeda, N., Wakita, T. 2011. Characterization of self-assembled virus-like particles of rat hepatitis E virus generated by recombinant baculoviruses. *J. Gen. Virol.* 92:2830-7283.
5. Yasuda, SP., Yoshimatsu, K., Koma, T., Shimizu, K., Endo, R., Isozumi, R., Arikawa, J. 2012 : Application of truncated nucleocapsid protein (N) for serotyping ELISA of murinae-associated hantavirus infection in rats. *J Vet Med Sci.* 74(2) : 215-219.

受賞 :

平成 22 年 5 月 Joel Darlymple Memorial Lectureship Award (国際ハンタウイルス学会賞)

所属学会及び役職 :

日本ウイルス学会 (平成 24~28 年理事、平成 28 年第 64 回学術集会総会会長)、日本獣医学会 (平成 12 年~評議員)、日本実験動物医学会、日本実験動物学会 (平成 15~16 年理事、平成 30 年第 7 回実験動物科学シンポジウム大会長)、日本バイオセーフティ学会 (平成 28~31 年理事、平成 25 年第 13 回学術集会総会会長)、人と動物の共通感染症研究会、日米医学協力研究会ウイルス性疾患専門部会員 (平成 26~29 年部会長、平成 22 年第 44 回日米医学協力研究会ウイルス性疾患合同専門部会会長)、日中国際ウイルス学会 (平成 24 年第 9 回日中国際ウイルス学会大会長)、北海道実験動物研究会 (平成 15~29 年会長)、バイオメディカルサイエンス研究会北海道拠点 (平成 23~31 年北海道拠点長)